

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんの他の臨床研究において採取し、検査の後に保管されている残った試料（前房水・硝子体液）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（前房水・硝子体液）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

感染性ぶどう膜炎病原体核酸同時検出キットに関する多施設共同臨床性能試験

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 眼科

【研究責任者】 井上英紀（眼科 助教）

【研究代表者】 中野聡子（大分大学医学部附属病院眼科 助教）

【研究の目的】

過去に眼内炎症疾患で採取された前房水や硝子体液の残余検体を用いて、感染性ぶどう膜炎の網羅的・迅速検査法として用いられている「感染性ぶどう膜炎病原体核酸同時検出キット」の有効性について評価する研究を行うことといたしました。この研究により本検査キットの有効性を評価し、薬事申請を行うことを目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）過去に当院において「ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断（PCR法）」、「細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断（PCR法）」もしくは「眼感染疾患診療における real-time PCR法の応用」いずれかの臨床研究に同意いただき、前房水または硝子体液の採取を行った患者さん

（利用するカルテ情報）当院における PCR 検査結果

（利用する試料）当院における PCR 検査で使用した後に残った試料（前房水または硝子体液）

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータ/試料は、匿名化されて、大分大学医学部附属病院に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者> 大分大学医学部附属病院 眼科 中野聡子

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院眼科 井上英紀

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5361